

イスラエルは殲滅攻撃をやめろ！ 停戦を受け入れ、食料搬入を認めろ

8月18日にハマスとガザの抵抗組織は、米・エジプトなど仲介国が提案した「60日停戦案」を受け入れました。60日の停戦、捕虜と人質の交換、ガザへの食糧封鎖の解除、恒久停戦の協議開始などです。イスラエル軍の撤退ではハマスの側が撤退範囲で譲歩しました。

しかし、イスラエルは停戦案を受け入れていません。ネタニヤフは「ハマスは大きな圧力を受けている」とハマスを蔑視を隠しません。しかし、ネタニヤフは拒否することもできず、返答を引き延ばしています。イスラエル国内では「人質の交換と戦争終結」を要求して100万人(ユダヤ人の7人に一人)がデモなどを行い政府に停戦を迫っています。

新しい全面攻撃の開始を狙うネタニヤフ

ネタニヤフは自分の政権維持のために、停戦を拒否し、軍の反対を押し切って大規模なガザ市全面占領＝殲滅攻撃作戦を強行しようとしています。5月に始まった現在の「ギデオンの戦車」作戦は、ガザ市の食料を絶ったうえで攻撃して、住民を南部に移動させる計画でした。その上でハマスを壊滅させ、人質を武力で取り戻そうという計画は全く失敗に終わりました。100万人の市民は移動せず、人質の死亡を恐れて住民地区を攻撃できなかったのです。新作戦はガザ市を全面占領し、住民を集中爆撃や地上攻撃で殺し、追い出すものです。とんでもない市民の被害が避けられません。ネタニヤフは人質が戦闘に巻き込まれ全員が死んでも構わないと判断しています。100万人のデモは人質の命さえ気にしない非情なやり方に憤っているのです。イスラエル軍は作戦実行のために6万人の予備役を招集し、ガザ市への攻撃を開始しています。ガザ殲滅の攻撃をやめ、停戦を受け入れとという声を世界中から突き付けなければなりません。

世界中がイスラエルの食糧封鎖、飢餓攻撃に怒りを押さえられません

イスラエルのガザ食糧封鎖で、餓死者が急速に増えています。毎日のように子どもが死んでいます。イスラエルが必要な食料の10分の1しか通過を認めないために、住民の多くが数日間食事をとれない状況にあります。子どもだけでなく、大人たちの飢餓も限界を超え餓死の危険が広がっています。イスラエル軍と米国のガザ人道財団GHFが行なう「食料配布」は、市民を集めて射殺する「死の罠」と非難されましたが、さらに飢えた住民が援助トラックに殺到して食料配布そのものが不可能になっています。住民を餓死させることは戦争犯罪です。イスラエルは国連や人道支援機関の食料・物資搬入を無条件で認めるべきです。



イスラエルに対して直ちにガザ市への攻撃をやめ、停戦を受け入れろと声を上げましょう。食料封鎖を解除させなければなりません。国連決議に従ってイスラエルに停戦と占領地からの撤退を要求するよう日本政府に求めましょう。まるでナチスのようにガザの人々を殺すネタニヤフ政権に対して、日本政府が外交的措置、武器の輸入停止、資金提供やあらゆる協力をやめるよう要求しましょう。

リブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com

2025年8月21日



戦争をやめるまでボイコットでイスラエル協力企業に圧力を！

今すぐボイコット！ イスラエルによるパレスチナ人の
占領、アパルトヘイト、ジェノサイドに加担する企業

BDS運動による優先的なボイコット対象



加えて日本の文脈では…



イスラエル産農産物

BDS運動による圧力対象



日本からの発信
FANUC

BDS運動が支持する
草の根ボイコット対象



BDS localized by: BDS

虐殺国家イスラエルを
万博に参加させるな！

2025 年 1 月現在

イスラエルは大虐殺、飢餓作戦をやめろ！ 抗議の声、要請を届けよう

□ 直ちに大虐殺をやめろ！食料搬入を認めろ、飢えさせるな

在日イスラエル大使館 infomation@tokyo.mfa.gov.il / consular@tokyo.mfa.gov.il

在日米国大使館 在日米国大使館のFaceBook U.S. Embassy Tokyo から

メッセージをおくる

□ 日本政府はイスラエルに大虐殺中止を要求しろ

首相官邸 首相官邸ホームページより「ご意見・ご感想」コーナーから送る

外務省 外務省ホームページから「御意見・御感想」コーナーから送る